

週日の説教

金 大烈 神父 2009年1月13日(火)

《神様の子としてふさわしい生き方をしているでしょうか》

今日の福音(マルコ1・21-28)では、イエス様によって、悪霊が、捕りついていた人から追い出されましたね。なぜイエス様にはそのような力があつたのでしょうか?全知全能の神様の子であり、神様と同じ力を持っていたからですね。しかし、イエス様が神様の子であっても、神様の子らしい生き方をしなければ、そういう力はなかつたでしょう。

私たちも、洗礼を受けたときから神様の子です。しかし、いろいろな暗い影響に負けてしまう場合が結構あります。怒ったり、泣き叫んだり、相手を殺してしまいたいとさえ思ってしまうような弱さがあります。私たちがそのような暗い勢力に勝つためには、イエス様にならって、神様の子らしい生き方をすることが必要です。

みなさまは、洗礼を受けたときに、新しく生まれ変わるという恵みをいただいています。けれども、その意識が足りないと思います。結局、死ぬまでの間にどのくらい上手に自分との戦いができるのか。それによって、「私はあなたの子です」といえる資格が、本当に私たちに与えられるのだと思います。洗礼を受けても、ぜんぜん信者らしくない姿を見せている、いいえ、それよりもっとひどい姿を見せている信者も結構います。その人々は洗礼を受けたことによって全部救われるのでしょうか。いいえ、そうではないと思います。洗礼をうけたことは、これから生きるべき、正しい道を教えてもらったこととなります。ですから、何が正しい道か、悪い道かがはっきりわかるようになり、それから自分との戦いです。

みなさま、私たちは本当に神様の子として「あなたを愛しています」という告白をするのにふさわしい生き方、考え方、振る舞い、心もちをしているでしょうか。いつも考えなければならぬと思います。

今日の福音の中で、汚れた霊に取りつかれた男(悪の勢力)は叫んでいます。「ナザレのイエス、かまわないでくれ。我々を滅ぼしに来たのか。正体は分かっている。神の聖者だ。」(マルコ1・24)弱さをもっている私たちは、イエス様が見せてくださった道を正しく歩まなければ、悪の勢力に負けてしまいます。悪霊が一番恐れるのは、聖なる力です。暗闇を歩まないように頑張っている姿です。ですから、闇の力が、正しく生きようとしている人々をつまずかせようとするのは、当然です。

ここに、最近洗礼を受けられた方もいらっしゃいますが、ある意味では、洗礼を受けられる前より、もっと大きく誘惑が近づいて来ると思います。そんな時、わたしはそんな力には絶対負けない という強い心で、祈りながら、勝ってください。

ありがとうございました。